

- 問1 SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」を具体化するためのプラスチック資源循環促進法に関する記述として、製品の設計から廃棄物処理までの「サイクル」全体を考慮した取り組みの背景にある考え方はどれですか。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. エネルギーの自給率を向上させるために、プラスチックを燃やした熱をすべて家庭用電力に変換するため | 2. 温室効果ガスの排出を抑えるために、プラスチックごみをすべて海外に輸出して処理を委託するため | 3. プラスチック製品の生産を全面的に禁止し、すべての素材を木材や金属に置き換えて消費を抑えるため | 4. 製品の設計段階からリサイクルのしやすさを考慮することで、廃棄物を減らし資源として再利用しやすくするため |
|--|--|---|--|
- 問2 地球温暖化の仕組みと、近年の国際社会における状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 熱帯林の伐採が進むことで、植物による光合成の働きが活発になり、結果として大気中の二酸化炭素が急増する。 | 2. 工場や自動車から排出される排ガスが雨に溶け込み、強い酸性を示すことで、気温の上昇とともに森林を枯死させる。 | 3. エアコンの冷媒などに使われる物質が大気中に放出され、紫外線を遮る層を破壊することで、地表の温度が急激に上昇する。 | 4. 二酸化炭素などの排出が増えることで、地表からの熱が宇宙へ逃げにくくなり、地球全体の気温が上昇する現象を指す。 |
|--|--|---|---|
- 問3 1960年代に制定された公害対策基本法に対し、琵琶湖の水質悪化や地球環境問題の深刻化といった社会状況の変化を受け、1993年に新たに制定された法律を何といいますか。この法律は、環境の保全について基本理念を定め、国、地方公共団体、事業者、国民の責務を明らかにしています。（2017年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------------|----------|------------|
| 1. 公害対策基本法 | 2. 循環型社会形成推進基本法 | 3. 環境基本法 | 4. 自然環境保全法 |
|------------|-----------------|----------|------------|
- 問4 発展途上国の社会基盤の現状について、西アフリカのマリと先進国を比較した統計があります。人口1万人あたりの医師数が24人の先進国に対し、マリは1.4人ととどまっています。また、初等教育において教師1人が受け持つ生徒数は、先進国の16人に対し、マリでは39人となっています。これらの指標から読み取れる、発展途上国の課題として最も適切なものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 医師数と生徒数のバランスが取れており、先進国に比べて少ない予算で効率的な社会運営が行われている。 | 2. 人口あたりの医師数が多いため医療体制は充実しているが、教師1人あたりの生徒数が多いため教育環境が過密になっている。 | 3. 人口あたりの医師数が極端に不足している一方で、教育現場では少人数学級が実現されており、教育の質は高い。 | 4. 人口あたりの医師数が少なく医療体制が不十分であり、かつ教師1人あたりの生徒数が多いため教育環境の整備が遅れている。 |
|---|--|--|--|
- 問5 2014年における発電コストの試算によると、天然ガスによる発電が13.7円、石炭が12.3円であるのに対し、太陽光は24.3円、バイオマスは29.7円となっています。このような統計上の事実が、日本のエネルギー供給体制のあり方にどのような議論を呼んでいるか、説明として最も適切なものを選択してください。（2016年 茨城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 石炭や天然ガスの枯渇を考慮し、どれだけ発電コストが高くても火力発電を維持し続けるべきだという議論 | 2. 再生可能エネルギーは二酸化炭素の排出量が火力発電より多いため、導入を制限すべきだという議論 | 3. 環境負荷の低減と、家計や企業の経済的負担のバランスをどう取るかという議論 | 4. 火力発電を全面的に廃止し、安価な再生可能エネルギーに即座に切り替えるべきだという議論 |
|---|--|---|---|
- 問6 持続可能な社会を築くための省エネ技術として、LED照明の導入が推奨されています。従来の蛍光灯と比較した際のLED照明の環境的な利点について、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 蛍光灯に比べて消費電力が少なく寿命が長いので、使用に伴う二酸化炭素排出量を大幅に削減できる。 | 2. 有害なガスを含まない代わりに、点灯時に大量の酸素を排出することで大気汚染の改善に寄与する。 | 3. 光の熱エネルギーを電気に再変換する機能があるため、消費電力以上のエネルギーを生み出すことができる。 | 4. 蛍光灯よりも製造コストが安く、一度に大量の廃棄が可能であるため、リサイクル効率が非常に高い。 |
|---|--|--|---|
- 問7 貴重な自然環境や生態系を保護する活動を継続しながら、それらを観光資源として活用することで地域経済を活性化させようとする取り組みを何と呼びますか。（2024年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-------------|--------------|----------------|
| 1. エコツーリズム | 2. マストゥーリズム | 3. グリーンツーリズム | 4. バリアフリーツーリズム |
|------------|-------------|--------------|----------------|
- 問8 海洋資源の持続可能な利用を目指すSDGs（持続可能な開発目標）の目標14「海の豊かさを守ろう」に関連して、クロマグロなどの資源管理が行われています。国際会議によって魚種ごとに「漁獲量の上限」を設ける取り組みの目的として、最も適切なものはどれですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 将来にわたって利用できるよう乱獲を防ぎ、資源の回復を図ること | 2. 特定の国からの輸入を全面的に禁止し、自国の漁業のみを保護すること | 3. 市場に出回る魚の量を減らすことで、魚の価格を大幅に吊り上げること | 4. 各国の漁船が自由に漁獲を行えるようにして、海洋開発を促進すること |
|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問9 地球環境問題の解決を目指し、国土交通省などが推奨している「エコ通勤」の主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 鹿児島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|---|
| 1. 二酸化硫黄の排出を制限し、森林や湖沼に被害を与える酸性雨を防ぐこと | 2. プラスチックごみの排出を抑制し、海洋汚染を防止して生態系を守ること | 3. フロンガスの放出を抑え、オゾン層の破壊を食い止めること | 4. 自家用車の利用を控えて公共交通機関等へ転換し、温室効果ガスの排出量を削減して地球温暖化を防ぐこと |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|---|
- 問10 1997年に採択された京都議定書では、先進国のみに温室効果ガスの削減義務が課されていましたが、排出量の多いアメリカ合衆国が途中で離脱するなどの課題がありました。2015年に採択された「パリ協定」では、これらの課題を踏まえ、どのような仕組みが取り入れられましたか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 発展途上国の経済成長を阻害しないよう、先進国のみが資金援助と削減義務のすべてを負う仕組み | 2. 先進国・発展途上国を問わず、すべての締約国に温室効果ガスの削減目標を作成・提出することを義務づける仕組み | 3. 国連が国ごとに一律の削減数値を割り当て、達成できなかった国には経済制裁を科す仕組み | 4. 過去に大量の温室効果ガスを排出した先進国のみに、より厳しい削減目標の達成を義務づける仕組み |
|---|---|--|--|
- 問11 温室効果ガスの排出削減について、1997年の京都議定書では先進国のみに義務が課されていましたが、2015年には途上国を含むすべての国が参加する新しい枠組みが採択されました。この協定の名称として最も適切なものを選びなさい。（2023年 宮崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|---------|-----------|------------|
| 1. ワシントン条約 | 2. パリ協定 | 3. パーゼル条約 | 4. ラムサール条約 |
|------------|---------|-----------|------------|